



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

〔こころの回復力(resilience)〕
～生きる力につながる がんばること・つづけること・がまんすること～

「こころの回復力(レジリエンス)」という言葉が精神医学で最初に使われたのは、小児精神医学の中で1990年代のことである、と藤田紘一郎(こころの免疫学・新潮選書)は書いていました。日本の自殺数は1998年から13年間連続して3万人を超え、うつ病の患者数は2008年には100万人を超えたと言われています。またこの10年間で二倍以上増えた疾患はアトピーや喘息、花粉症などのアレルギー疾患と、うつなどの「こころの病」であるということです。これらの病気は、50年前の日本ではほとんど見られなかったとも言っており、私も50年以上も前にこの保育の世界に入った頃にはこのような疾患の人はあまりいなかったような気がします。

改めて「こころの健康、からだの健康」をふり返ってみた時、思い出される統計資料がありました。厚生労働省が発表した「子育てに関する調査」です。

1970年代の調査で、「子育てに不安を感じる、子育てにイライラする」という項目に対して80%以上の人たちが「そう思う」と答えていました。また、1980年代の横浜市の民間の調査では「子どもたちを叱るとき、どこを叩きますか」という設問に対して、80%以上の人叩くと答えていました。

私は「こころの回復力」という言葉が使われ出したのが”小児精神科医学界からで1990年代のことである”という言葉から、1970年前後にあった第二次ベビーブームと核家族化の胎動の始まりではなかったか!?

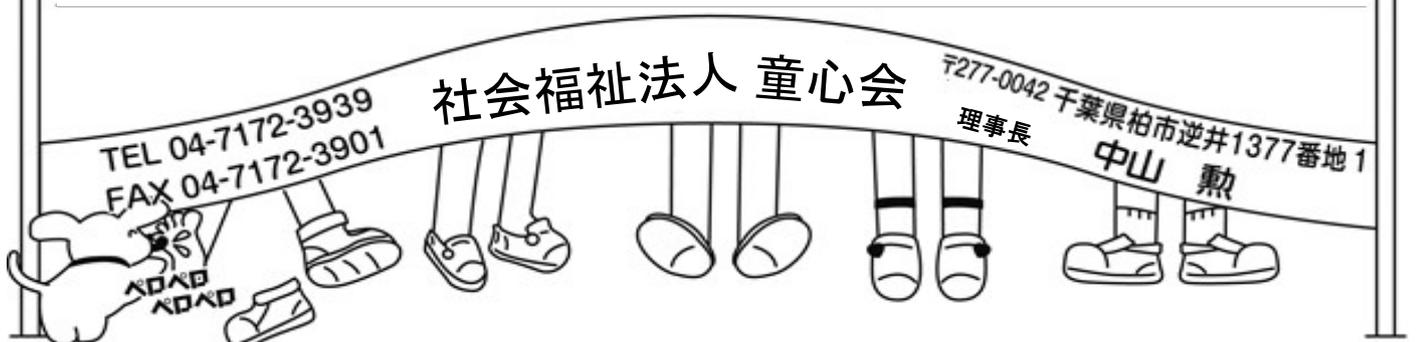
と、思い当たる原因の一つであると確信しています。戦後から生まれた三世代にわたる世代間連鎖は「子どもの虐待や自殺、うつ病などのこころの病気」そして「この10年間で二倍以上増えた疾患、アトピーや喘息、花粉症などのアレルギー疾患などからだの病気」として今、私たちを苦しめています。



笑ったかす一番 だっこされたかす一番 やさしくされたかす一番
遊んだかす一番 でかけたかす一番 チャレンジしたかす一番



E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>



TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲

理学博士の佐治春夫氏は、長年宇宙の摂理(自然界を支配している理法(きまり))を探求する中で、宇宙生成法則が生き方の法則と不思議なほど一致しているという結論を得た人です。

その人が「89年間生きてきた僕の人生観です」と次のようにしていました。

『人生はいま、この時を生きていくこと、僕たちは過去を過ぎさつたものと考えますが、

そう考える自分は現在にいる。先のことを考える自分も現在にいる。

つまり過去も未来も現在に含まれ、それが永遠に続くというんです。

『僕はそのことを、「あなたの これまでが あなたのこれからを決めるのではなく、

あなたのこれからが あなたのこれまでを決める」と表現しているんです。』

今まで、今日までの試練や体験が楽ではなかったということは、今が幸せであるのかもしれませんが。

いまが変われば、過去も未来も変わるのです。

それが私たち(社福)童心会の道しるべ「Well-being 幸せになろうね！幸せになろうよ！」なのです。

そのために私たち(社福)童心会の訓えは法人だより7月号のサブタイトルにある

「生きる力につながる”がんばること(体の力)_つづけること(学ぶ力)_がまんすること(心の力)”

を育み、身につけさせることなのです。そして私たち仲間たちとの出会いを大切にしながら

”変わること、改めること、そして新しい を創ること”という旅路「今から・ここから・自分を創る」を

歩み始めなければなりません。

改めて私たち(社福)童心会の人間教育の目標「思いやりと生きる力」は、

私が50年以上の前に茨城県下館市(現筑西市)で筑子保育園をはじめた時、

私に天から降りてきた言葉だったのです。くわしい意味も分からずに目標に決めたのですが、

後で調べてみたら仏教哲学の「慈悲と智慧」であることが分かりました。

佐治先生はかつて京都の国際日本文化研究所で研究員をしていた時、科学と宗教というプロジェクトに関わり、いろいろな宗教に共通する基本的な要素は何かについて調べたことがあったというのです。

『ヒンドゥー教、ユダヤ教、仏教、キリスト教、イスラム教、道教、儒教などの多くの教えの中から

大切な部分を因数分解すると、基本教義はひと言で表現すると「慈悲」という言葉です。

慈悲の慈とは「人に安らぎを与えられたらいいな、と心から願うこと」、

悲とは「人の苦しみや悲しみを和らげてあげられたらいいな、と心から願うこと」

それがすべての宗教に通底(底辺に共通性)している思想だと分かった』というのです。

そして最後に”生きる力”とは智慧といい、「実人生を生き抜く力 grit」という意味なのだそうです。

私たちの目指す「人間学と人間科学に基づく人間教育」とは「笑顔・挨拶・思いやり・感謝」という

人間学的な人間としての生きる基盤と「五感を刺激する0歳からの人間教育」という

脳科学に基づく人の成り立ちを理解した人間教育に取り組みねばならないのです。

- ふれあい・見まもり・思いやり
- いたわり・はげまし・思いやり
- うるおい・やすらぎ・思いやり

私たち(社福)童心会の保育園がこのような思いやりを通して

穏やかな子ども、家族、家庭、コミュニティを創造することをいつも私は夢見ているのです。

この私の願いと祈りと念(おも)いが叶えられ、

皆さまのご家庭やご近所の皆さまにも幸せが訪れますように祈っています。

いつまでも皆さま一人ひとりに 幸せの女神が舞い降りて下さいますように!!

令和6年 7月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲